

平成30年度 地方創生交付金事業事前評価

資料①

令和元年10月11日南丹市地域創生会議

「地域創生戦略のKPI達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	戦略の該当項目 事業名 (担当課)	評価	意見等
1	1- (1) -① ふるさと農業創生支援事業 (農業推進課)	① 4名 ② 5名 ③ 0名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元調整や学習会等を通じて、農家民宿を活用した教育体験旅行に積極的に取り組むとともに、農家民宿間の連携など、地域ぐるみで都市住民を受け入れる体制も整ってきている。</li> <li>・開業数が目標値に達成したことにより、今後は府や森の京都DMOとの連携などにより、農家民宿の稼働率など、事業継続を注視する必要がある。</li> <li>・セミナーやツアー等だけでなく、実際やりたい人がしやすくなる窓口の整備をして、その体制をPRしては？</li> <li>・オーガニック農家のハードルも低くなるとよいと思う。</li> <li>・農家民宿・農家レストラン等の起業時クラウドファンディング利用者のコンセプトで評価できるものについて、初期費用の補助や支援額が80~90%超えた場合等、市が残りを支援するなどの制度を作る。</li> </ul>
2	1- (1) -① 創業支援事業 (商工課)	① 7名 ② 1名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業支援は、地域経済の活性化や雇用の創出を図る上で、有意義な取組であり、創業後、早期に軌道にのることができるよう事業者のニーズに応じた支援機関のフォローアップが必要とされる。</li> <li>・新南丹地域振興計画においても、女性や高齢者の「起業」のニーズを踏まえ、商工関係団体や地元金融機関等との協働による相談や研修会等の開催を通じた「起業」の支援について掲げているところであり、十分留意いただきたい。</li> <li>・金融機関として起業家の多くと接してきているが、起業前の支援に加え起業後のフォローが重要で、夢・悩み・課題等の解決のために地元金融機関との連携を密にしてゆく必要がある。</li> <li>・参加してためになった。</li> <li>・番号3、4の事業も含めて創業・起業の関連事業となっておりますが、これらの事業がうまく連携できているのか確認が必要です。セミナー等参加者がどのように創業・起業に結びついているのかなどを確認できればと思います。</li> </ul>

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	戦略の該当項目 事業名 (担当課)	評価	意見等
3	1- (1) -① 実践型人材育成事業 (地域振興課)	① 0名 ② 7名 ③ 1名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業は、地域経済の活性化・雇用の創出に大きな役割を果たしており、「新たなしごとの創出」にチャレンジしようとする方を積極的に支援することは、有意義な取組である。</li> <li>・女性ならではの視点による新ビジネスの創出は、地域経済の活性化をもたらすものである。</li> <li>・起業に向けた伴走支援を強化し、着実な起業に結びつけられる事業展開の支援が課題である。</li> <li>・設定項目に向けた作業としては弱い。サテライトオフィス自体はよいと思う。</li> </ul>
4	1- (1) -③ むら・ひと・しごと創生事業 (地域振興課) (商工課) (農山村振興課)	① 1名 ② 6名 ③ 1名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定住を進めていくためには、地域を活性化し、しごとの創出に結びつく取組が必要である。実施された取組は、地域資源を生かしたもので、今後もそれぞれの地域の状況に応じて継続的な支援を進めていく必要がある。</li> <li>・事業の実施に当たっては、長期的視点だけでなく、短期的なロードマップなども作成し、可能な限り短期間に、しごとの創出に結びつく事業展開ができるよう工夫して進めることが課題である。</li> <li>・1つの事業者に対する額が大きいので、地域内で摩擦が生まれているような声を聞く。気をつけて。</li> <li>・美山地域でいろいろな事業をされているが、住民のひとりとして実施されている事がわからない。</li> <li>・番号1同様クラウドファンディング利用時の制度</li> </ul>
5	1- (2) -③ 南丹市販路開拓支援事業 (商工課)	① 6名 ② 2名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働力の確保を始め経営環境が厳しさを増す中で、事業者の経営の安定、持続的な成長・発展のためには、新たな販路を開拓していくことが不可欠である。</li> <li>・今後は支援件数の増加を図ることにより、支援機関と連携しながら支援に関するノウハウを蓄積し、新規取引先につながっている実績のPRにつとめ、効果的、効率的な支援に努めることが重要である。</li> <li>・例えば他府県の事業者を招き南丹市の食材等を集め、大規模なフードコラボを実施してみてもどうか？</li> </ul>

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	戦略の該当項目 事業名 (担当課)	評価	意見等
6	2- (1) -① 空き家流動化対策事業 (地域振興課)	① 8名 ② 1名 ③ 0名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者用の空家不足が課題となる中、地域ぐるみでの空家の掘り起こしや空家掃除作業の支援・空家の思い出をアルバム化する事業など、地域ニーズに応じた空家確保につながる事業を展開している。</li> <li>・今後は、府をはじめとする関係機関との連携により、地域、空家所有者の選択肢が広がるようにつとめる必要がある。</li> <li>・一方で、移住相談については、相談件数（アウトプット）よりも移住者数（アウトカム）に重点を置き、移住実現事例の横展開など、効果的な取組を重視するべきである。</li> <li>・空き家になる時、持ち主に空き家バンク登録を促す。</li> <li>・移住希望者に情報を届けるには紙媒体ではなくWEB媒体が効果が高いように思う。1冊675円のガイドブックの必要性が感じられない。</li> <li>・地縁団体のはたらきかけはむずかしい（人間関係的に）。市からはたらきかけられたら。</li> <li>・番号6、7、8の3事業について情報共有や連携体制について教えてください。</li> </ul>
7	2- (1) -③ 定住促進サポートセンター運営事業 (地域振興課)	① 9名 ② 0名 ③ 0名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定住サポートセンターを核に、移住希望者が持つ課題に、一元的に対応する体制が出来ており、また、府の京都移住コンシェルジュや地域団体等と連携して、きめ細かな対応をされている。</li> <li>・都会に近い京都丹波地域の魅力を最大限に発揮するため、子育て・福祉施策等との連携や近隣市町との連携をより進めていくことが必要である。</li> <li>・なお、指標については相談件数（アウトプット）よりも移住者数（アウトカム）に重点を置き、移住実現事例の横展開など、効果的な取組を重視するべきである。</li> <li>・空き家だけでなく土地・農地用の職員を入れては。</li> <li>・人口が増加している（滋賀/大津）のアンケート結果の1位から10位です。参考にしてください。</li> <li>①通勤通学の利便性 ②子育て教育環境 ③生活環境 ④交通の利便性 ⑤町・地域のイメージ ⑥地価・家賃相場 ⑦親族の居住地等への近さ ⑧自然環境 ⑨友人などの居住地等への近さ ⑩行政の取組内容</li> <li>・移住相談件数288件に対し空き家活用件数28件は少ないのでは？行政と地域が連携し空き家バンク登録件数を増加させてゆくことが重要。また新築購入動向・中古購入動向が賃貸希望なのか傾向を把握してゆくことも必要。個人的には古民家の魅力は大きいと思う。</li> </ul>

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	戦略の該当項目 事業名 (担当課)	評価	意見等
8	2- (1) -③ シティプロモーション推進事業 (秘書広報課)	① 6名 ② 0名 ③ 3名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ U・I ターン者や地域団体など市民協働による動画やテーマソング作成により、南丹市の魅力を都市住民に分かりやすく伝える努力が認められる。</li> <li>・ 対外的な情報発信とともに、在住者の地域への愛着を醸成し、定住促進の効果も期待できる。</li> <li>・ なお、指標については移住相談のみではなく、住民の意識調査や観光入込客数などの工夫が要すると考える。</li> <li>・ 相談件数の増加と本事業の相関性が</li> <li>・ ラジオでよく聞くとお客さんに言われる。移住につながるかどうかはこれから。時間をかけて。</li> </ul>
9	2- (2) -① 観光イベント振興事業 (商工課) (観光交流室)	① 4名 ② 3名 ③ 2名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光は極めて裾野の広い産業であり、大きな経済波及効果を持っている。本格的な人口減少時代を迎える中で、京都府全体、とりわけ人口減少に伴う経済の停滞・地域の衰退が懸念される府域の発展に観光が果たす大きな力に期待が寄せられている。</li> <li>・ 京都市への観光客を京都丹波地域に周遊促進が図れるよう観光施策の推進を図っていくことが重要であり、近隣市町、森の京都DMO、府などと携して取り組んでいただきたい。</li> <li>・ なお、イベントによる来訪者は一過性に過ぎず、天候にも左右されるため、イベント開催に当たってはリピーターの確保につながるような内容に工夫するとともに、観光消費額を指標とするなど、観光が地域活性化の入り口であることに留意して取り組んでいただきたい。</li> <li>・ 地元住民の為の事業であるならばK P Iの見直しが必要だと思う。</li> <li>・ 抽選会などは同じ人がいくつも応募するようなことを聞いたので不公平感がないように。景品より出店者へのサポートを充実させる方がよいのでは。</li> <li>・ 外国人宿泊客5,409名となっている。現状、観光型から体験型に人気移行していることを頭に入れておく必要がある。また、日本人と比較し外国人の電子マネー利用率は極めて高い。突然、外国人が食べにくる飲食店になったという事も耳にするが観光客はSNSで電子マネーが使えるかどうか等を情報交換している。中国人であれば「アリペイ」が使える店・宿泊施設は大歓迎なのでそのようなこともアピール材料となる。「麒麟がくる」の明智光秀ゆかりの地も行政が中心となりアピールしてゆく必要があるのでは？</li> </ul>

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	戦略の該当項目 事業名 (担当課)	評価	意見等
10	2- (2) -① 各種イベント等開催事業 (市民協働室)	① 1名 ② 7名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	・住民主導のイベントの開催は地域住民と観光客の交流により、より地域の魅力を発信できる取組であると考え る。 ・ただし、観光振興のためのイベントの意義については上記「観光イベント振興事業」と同様であることと、参 加者層を考えると「外国人観光客の宿泊者数」が指標として相応しいかは疑問がある。 ・抽選会などは同じ人がいくつも応募するようなことを聞いたので不公平感がないように。景品より出店者への サポートを充実させる方がよいのでは。
11	2- (2) -① 観光宣伝事業 (観光交流室)	① 5名 ② 4名 ③ 0名 ④ 0名 ⑤ 0名	・道の駅における観光宣伝での誘客、フォトコンテストを通じた地域の魅力のPR等、観光客の誘客や地域ブラン ド力の向上につながるものである。 ・首都圏等の国内遠隔地や海外に向けてはより訴求力の高い取組が必要であり、全国的な知名度を誇る美山への 支援は重要であり、そこから市内全域への周遊を促進する取組や、府や森の京都DMOと連携した取組を強化して いただきたい。 ・美山DMOと他の観光協会や森の京都DMOとの協力体制をもっとつくってほしい。バラバラ感。
12	2- (2) -① 観光協会事業 (観光交流室)	① 2名 ② 7名 ③ 0名 ④ 0名 ⑤ 0名	・南丹市内の各地域の特色に合わせた観光事業を行う観光協会への支援は、必要と考える。 ・南丹市の観光戦略をいかに観光協会と共有し、より一層、事業に反映していくかということや、各観光協会間 の連携を図ることが必要であると考え。 ・事務局はとてもがんばっておられるけど現状として八木町観光協会がしまっているときはうちに質問がくる。
13	2- (2) -① 山陰本線南丹市広告宣伝事業 (地域振興課)	① 6名 ② 3名 ③ 0名 ④ 0名 ⑤ 0名	・京都・大阪のJRでの観光宣伝は、地域の魅力のPR等、観光客の誘客や地域ブランド力の向上につながるもの である。 ・一方で、事業の目的はJR山陰本線の利用者増であり、自動車利用が多いと考えられる観光入込客数を指標と することは不適當ではないか。 ・都市部に出したのは見る人が多くよかったと思う。

「地域創生戦略のKPI達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	戦略の該当項目 事業名 (担当課)	評価	意見等
14	2- (2) -① 観光動態調査事業 (観光交流室)	① 3名 ② 4名 ③ 0名 ④ 2名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の観光戦略の策定、地域ブランド力の形成を図る上で、現状の分析は必要なものである。</li> <li>・調査結果を基に、市の観光戦略にいかに関活用していくかが重要であり、継続した調査の実施と、観光戦略への反映が必要と考える。</li> <li>・観光動態調査については、森D、美山DMOなども実施しているので調整、情報共有しながらすすめられると更に効果的だと思う。</li> <li>・データ数を集めるためなのであれば、アプリはハードルが高かったのでは（若い人が多くなる）</li> <li>・調査結果を踏まえて、南丹市の観光をどのように分析し、次の事業に展開するのか教えていただきたい。</li> </ul>
15	2- (2) -③ スポーツ拠点づくり推進事業 (市民協働室)	① 5名 ② 3名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元や各関係団体等で構成する実行委員会による開催は意義があり、トライアスリートやサイクリスト等の間では全国規模の大会として定着しつつある。</li> <li>・一方で、参加者と地元の住民以外の知名度は低く、今後は「する」、「支える」以外に「見る」スポーツとしての認知度を高めるとともに、市内での宿泊など地域経済にも貢献するイベントとしてあり方を工夫する必要がある。</li> <li>・おもてなしイベント以外にもまちにお客さんが歩くようなしなかけを作って満足度を高めたい。八木商店街への集客はほぼないので、美山は町をあげたよい大会になっていると思う。（美山だったら①、八木は④）</li> </ul>
16	4- (1) -② 小学校跡施設利活用推進事業 (総務課)	① 3名 ② 6名 ③ 0名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校跡地を地域振興の拠点として利活用をしたり、また、これを運営する地域団体も設立されつつあり、有効的な取組みと考える。</li> <li>・一方で、地域間の取組の差が大きいことにも留意しながら、今後も廃校舎を効果的に活用されることを期待したい。</li> </ul>
17	4- (1) -② 小学校跡施設管理費 (地域振興課)	① 3名 ② 6名 ③ 0名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間の活用をもっと考えてもいいかも。何年で自立運営できるか。</li> <li>・廃校となった小学校教室からインキュベーションを起こすための活用は素晴らしいと思う。</li> <li>・番号1同様クラウドファンディング利用時の補助制度</li> </ul>

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	戦略の該当項目 事業名 (担当課)	評価	意見等
18	4- (1) -④ 地域活性化支援事業 (地域振興課)	① 5名 ② 4名 ③ 0名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過疎化や高齢化により活力が低下していく中で、「地域再生計画策定事業」を始めとする集落支援事業では、地域が抱える課題解決を図るために地域住民の合意形成を促し、地域の力を再生し、安心して住み続けられる地域づくりの推進を図っており、効果的と考える。</li> <li>・今後も地域の新しい価値・誇りの創出により地域の活性化に繋がる事業展開を期待したい。</li> <li>・支援員の力量による差を感じる。今は地域ごとだが協力隊のようにテーマごとにはどうか。</li> </ul>
19	4- (2) -① 障害者団体活動支援事業 (社会福祉課)	① 6名 ② 1名 ③ 2名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の減少や高齢化などにより活動基盤が弱まってきている障害者の当事者団体や支援団体に対して、適切な助成が行われており、障害者の社会参加が図られている。</li> <li>・今後、誰もが希望を持って住み続けられる地域づくりを進めるため、引き続き、継続した支援を期待する。</li> <li>・少人数の会がいくつもあるので、合同でできるところは合同にしても？</li> </ul>
20	4- (2) -① 障害者就労支援ネットワーク運営事業 (社会福祉課)	① 6名 ② 2名 ③ 0名 ④ 1名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク会議を中心に、前年度と同程度に受発注情報の収集や提供等の活動が強化されている。</li> <li>・さらなる魅力ある商品開発や販路拡大を通じて、工賃単価のアップを進めることが必要である。</li> <li>・なお、障がい者の就労の場の確保を目的とする事業において、「すみやすいと感じている市民の割合」が指標として相応しいかどうか疑問がある。</li> <li>・障がい者の働く場の確保。1時間の工賃が低賃金である。</li> <li>・連携活動すばらしいと思う。</li> </ul>

「地域創生戦略のK P I達成に有効であるか」を評価

評価：①有効であった ②どちらかといえば有効であった ③どちらともいえない ④どちらかといえば有効とはいえない ⑤有効とはいえない

番号	戦略の該当項目 事業名 (担当課)	評価	意見等
21	4- (2) -① 特別支援教育推進事業 (学校教育課)	① 6名 ② 3名 ③ 0名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の支援員により、発達障害をはじめ特別な支援を要する児童生徒への、個々の障害やその特性を踏まえ、たきめ細やかな指導・支援が行われ、特別支援教育の充実が図られた。</li> <li>・京都府教育委員会では、「特別支援教育充実事業」において特別支援教育指導員を配置し、本事業（南丹市）の支援員とも連携しながら、特別な支援を要する児童生徒に対する校内体制の整備等に努めているところであり、府事業との相乗効果も高いことから、事業を是非とも継続されるとともに、支援が必要な児童生徒の増加を踏まえ、更なる充実を期待する。 ※南丹市実績（H30）市立小中学校4校へ非常勤講師を配置</li> <li>・住みやすいと感じていない4割がどうしたらよくなると思っているのかきいていけたらよい。</li> <li>・社会に出て、どのように社会と付き合うのか個性を活かせる力を早い時から身に付ける支援が必要であると思います。</li> </ul>
22	4- (3) -① 森の京都推進事業 (観光交流室)	① 8名 ② 0名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森の京都エリアの魅力的な観光資源を組み合わせた旅行商品、メディアを活用した情報発信は効果的であり、これらの取組を訴求力の高いものにするためには森の京都DMOにおいて府や近隣市町と連携して取り組むことが有効である。</li> <li>・一方で、森の京都DMOの事業は単独で成り立つものではなく、各市町の取組がベースになるものであることに留意し、引き続きDMOの取組への協力をお願いしたい。</li> <li>・事業実施の先にある目的や効果がK P Iになるのでは？と思いました。</li> <li>・質をはかるのはむずかしいけれど、数でなく内容をみたい。</li> <li>・設定項目を森の京都関連事業実施数としているのはどうしてか教えてください。観光系の項目ではダメでしょうか。</li> </ul>
23	4- (3) -① 間伐材出材奨励事業 (農山村振興課)	① 6名 ② 1名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材生産の採算性が厳しい中、搬出費用の軽減を図ることで、森林整備及び間伐材生産が促進され、有効な事業であったと考える。</li> <li>・森林の適切な管理は、単に林業の振興にとどまらず、「森の京都」の魅力創出にもつながるものであり、今後も当事業を継続して実施されるよう期待する。</li> <li>・地域の材を使いたいと思った時（床を張り替えた時）どこにいけばいいかわからなかったことがあった。「ここに聞けばこんなふう地域材が使えるよ」というアナウンスがあれば使う人増えていいのかも。たたみをフローリングにしたいお家とか増えると思うので、うまく需要につながれば。</li> <li>・設定項目を森の京都関連事業実施数としているのはどうしてか教えてください。林業従事者数など林業にかかわる項目としては、ダメでしょうか。</li> </ul>